

令和7年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都芸術センターの運営基盤強化		
予算額	20,000 千円 (全体事業費 151,428 千円のうち充実分)	新規・充実・継続の別	充実
担当課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(222-3119)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>京都市では、文化芸術を総合的に振興するため、多様な芸術活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、芸術を通じた交流を図るため「京都芸術センター（以下、芸術センターという）」を運営している。</p> <p>平成12年度の開設以降、アートコーディネーターやプログラムディレクター等の専門人材が中心となり、新進芸術家の制作活動をサポートし、国内外で活躍する芸術家を生み出すなど、京都で若い芸術家が活動する拠点として成果を上げている。</p> <p>令和7年度に開設25周年を迎える芸術センターについて、市民・アーティスト・企業等が出会い、交ざり合い、新たな価値を生み出す、本市における文化芸術の中核拠点を目指す。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>開設25周年を迎えた芸術センターが新たな価値を生み出す創造拠点になることを目指し、運営基盤の強化を図るとともに、次期指定管理期間に向け、運営のあり方や手法について調査・実証を行う。</p> <p>【既存事業】</p> <p>本市、芸術家及びその他芸術に関する活動を行う者が連携し、本市における文化芸術を総合的に振興するため、</p> <p>① ジャンルを問わない若い世代の芸術家の制作活動の支援【活動センター機能】</p> <p>② さまざまなメディアを用いた、芸術文化に関する情報の収集と発信【情報センター機能】</p> <p>③ 芸術家と市民あるいは芸術家相互の交流の促進【交流センター機能】</p> <p>を実施している。</p> <p>【充実事業】</p> <p>○ <u>運営基盤の強化</u></p> <p>芸術センター事業や施設自体の認知度向上、集客力を高め、ステークホルダー（市民・企業・文化芸術関係者）等との関係性を充実・強化するため、新たに広報マネージャーを配置する等、運営基盤の強化を図る。</p> <p>○ <u>運営のあり方検討及び実証</u></p> <p>芸術センターが理想の姿を目指すにあたり、外部有識者の知見や他都市のアートセンター等の運営方法を調査し、効果的な運営方法を把握・検討するための調査・実証を行う。</p>			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出		
予算額	28,700 千円 (全体事業費 54,200 千円のうち充実分)	新規・充実・継続の別	充実
担当課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(222-3119)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>京都市では、感性豊かな子どもの頃から質の高い文化芸術に直接触れる機会を創出することにより、京都の文化芸術を支え、継承と創造をしていく次世代の「担い手」「支え手」となる若者を育成することを目指し、本事業に取り組んでいる。</p> <p>これまでから、伝統芸能や茶道、華道、演劇、ダンスなど幅広い分野で活躍する京都の一流の芸術家が講師となり、市内の小・中学校や保育所等で実演鑑賞やワークショップ等を行う「文化芸術授業（ようこそアーティスト）」や、市内の中学生を対象に、能楽堂等本格的な舞台上で能や狂言、日本舞踊等の伝統芸能の魅力に触れる「伝統公演授業（ようこそ和の空間）」等を実施している。</p> <p>本事業の参加者アンケートでは、文化芸術への興味・関心が向上し、高い満足度が得られる等、事業の有効性が確認されていること、受入を希望する学校等が多いことから、さらに多くの学校等において、文化芸術に触れる機会の拡充を図る。また、より感性豊かで「体験」を得ることが重要である幼少期から、京都ならではの伝統文化等に触れてもらうことで、子どもの可能性を広げ、豊かな人間性を育むため、低年齢向け伝統文化体験事業をモデル的に実施する。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>「ようこそ和の空間」等を継続して実施するとともに、「ようこそアーティスト」の実施箇所数を拡充し、さらに、幼少期の子どもたちがほんものの伝統文化等に触れられる機会を充実する。</p> <p>【既存事業】</p> <p>○伝統公演授業（ようこそ和の空間）等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生を対象に能楽堂等本格的な文化芸術の舞台上で伝統芸能公演を鑑賞する。 ・親子や子どもたちを対象としたイベント情報やコラムを掲載する子ども向けアート情報の総合サイト『KYOTO ARTBOX FOR KIDS』を運営する。 <p>【充実事業】</p> <p>○文化芸術授業（ようこそアーティスト）の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ようこそアーティスト」について、実施箇所数を拡充させ、子どもたちが京都にある優れた文化芸術に触れる機会を提供し、子どもたちの豊かな感性や人間性を育む。 <p>令和6年度：約60か所 → 令和7年度：約100か所</p> <p>○低年齢向け伝統文化体験事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より感性豊かで「体験」を得ることが重要である幼少期から、京都ならではの伝統文化等に触れてもらい、次世代の「担い手」「支え手」の育成につなげるため、低年齢を対象に、集合型の伝統文化体験事業をモデル的に実施する。 			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都の若者が世界の多彩な才能と交流する仕組みづくり		
予算額	28,000 千円 (全体事業費 45,000 千円のうち充実分)	新規・充実・継続の別	充実
担当課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(222-3119)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>京都市では、公民問わず様々な施設・団体において、海外からクリエイターを受け入れ、一定期間滞在し、創作活動を行うAIR（アーティスト・イン・レジデンス）が行われている。</p> <p>しかし、海外から京都へ訪れたいという需要に対して、ノウハウを持った施設や人材の不足により、十分に受け入れることができていない。また、滞在される海外のクリエイターと京都の若者・地域が交流する仕組みが不足しており、創造的な「交ざり合い」が行われる機会を逸している状況である。</p> <p>このような状況を踏まえ、これまで培われてきたAIRのノウハウを生かして、アート分野以外のクリエイターも対象とし、既存ネットワークの強化や受入可能な施設の増加、クリエイターと若者・地域との交流促進を目指し、令和6年度からモデル事業に着手しているところである。</p> <p>令和7年度は、これまでの取組に加え、京都のレジデンス環境の海外発信や、受入施設とクリエイター、若者・地域との交流に係るコーディネート機能の充実など、新たなモデル事業に取り組みつつ、滞在先として京都が選ばれ続けるための全体の仕組みを検討し、令和8年度の本格実施につなげる。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>1 <u>レジデンス施設のスタートアップ支援（充実）</u></p> <p>令和6年度に引き続き、新たにレジデンスを希望する施設を支援する。また、令和6年度に海外クリエイターを受け入れた施設が、スムーズに自律運営できるようフォローアップを行う。モデル事業の成果については、報告会等の公開により、ノウハウを共有する。</p> <p>2 <u>海外クリエイターと若者・地域との交流促進（充実）</u></p> <p>海外クリエイターと若者・地域との交流に係るコーディネート機能を充実する。また、各レジデンス施設、団体の取組情報を発信することで、国内外の方々が訪れやすい環境を整える。</p> <p>3 <u>交流会（ミートアップ）の実施</u></p> <p>レジデンス施設のオーナーやコーディネーターをはじめ、本事業に関心のある方々との交流会を開催し、新規オーナー候補の発掘や、施設間の連携を深める機会とする。</p> <p>4 <u>国内外のネットワークづくり（充実）</u></p> <p>大阪・関西万博の開催や京都のクリエイターの海外派遣など国際交流の機会を捉え、国内外の関係機関との連携を深め、滞在先として京都が選ばれ続けるように協力関係を構築する。</p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	文化財修理サイクルの確立に向けた修理助成制度の再構築		
予算額	155,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	文化芸術都市推進室 文化財保護課(222-3130)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>市指定登録文化財は、国民・市民のかけがえのない公共財産として将来にわたって確実に保存継承していくべきものである。</p> <p>このため、本市では建造物や美術工芸品をはじめとする市指定登録文化財の修理改修等に対する補助を行ってきたところであるが、近年の異常気象や激甚化・頻発化する災害等による劣化の進行の加速や物価高騰等に伴い、所有者負担が増大するなど、文化財の保存継承を取り巻く状況が厳しくなっている。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>文化財保存継承を取り巻く状況に対応するため、市指定登録文化財の修理改修等に対する助成事業を整理、再編し、適切な支援を行うことにより、文化財を将来にわたって確実に保存継承していくための修理サイクルの構築を目指すとともに、文化財の保存と活用の好循環を創出する。</p> <p>○市指定文化財等修理改修事業等助成（補助額：最大1千万円） 市指定登録文化財の修理改修や耐震改修事業に対する補助を行う。</p> <p>○市指定文化財等の耐震化に係る設計・調査等助成（補助額：最大1千万円） 文化財建造物の耐震診断及び耐震設計事業に対する補助を行う。</p> <p>○市指定文化財等大規模修理事業等助成（補助額：最大7千万円） 150年周期で必要となる文化財建造物の根本修理をはじめとした大規模修理事業に対する補助を行う。 補助を行う文化財に関しては、修理後の活用方針を審査するなど、活用の観点も踏まえた選定を行うことで、文化財の保存と活用の好循環を生み出す。</p> <p>○所有者負担軽減に向けた検討 あわせて、文化財修理改修事業等に対する更なる寄付金の獲得など、所有者の負担軽減に向けた検討を行う。</p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	特別天然記念物オオサンショウウオ保存事業		
予算額	5,500 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	文化芸術都市推進室 文化財保護課(222-3130)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 オオサンショウウオ（以下、「在来種」という。）は、日本固有の両生類で、生きた化石として学術的にも貴重な動物であり、国の特別天然記念物にも指定されており、本市河川での生息も確認されている。</p> <p>しかし、市内に生息する在来種は、1970年代に食用として中国から輸入されたチュウゴクオオサンショウウオ類（以下、「外来種」という。）の密放流に伴う遺伝子かく乱の被害により、絶滅の危機に瀕しており、在来種個体群を遺伝子かく乱の被害から守り、生息域内における保護増殖を促進することが急務となっていることを受け、平成23年度からオオサンショウウオ保護事業における生息状況調査を実施している。その結果、市内個体群は全域的に遺伝子かく乱の被害を受けていることが判明するとともに、在来種のみで構成される個体群が残存する地域があることも判明した。</p>			
<p>【事業概要】 在来種個体群の残存地域において捕獲調査を実施し、マイクロチップ挿入による個体識別や、環境改変時の保護対策などを通じて、個体群管理と生息・繁殖環境の保全に取り組む。</p> <p>また、捕獲個体は形態及び遺伝子から、種の判定を行い、適切な在来種個体群の維持と、侵入した外来種・交雑個体の早期発見及び隔離に努めることにより、在来種優占地域の拡大による在来種の個体数回復を図る。</p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】 瀬戸市、名張市、宇陀市、鏡野町、広島市、鳥取県では、文化庁の国庫補助事業である「天然記念物緊急調査事業」として、生息状況調査が実施されている。また、岩国市は、「天然記念物再生事業」として、オオサンショウウオの保護対策を講じている。</p>			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	効率的な収納・保管のための出土品再整理業務(重要遺跡出土遺物整理業務)		
予算額	11,400 千円 (全体事業費 30,355 千円のうち充実分)	新規・充実・継続の別	充実
担当課	文化芸術都市推進室 文化財保護課(222-3130)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 出土品などの埋蔵文化財は市民や観光客等を対象とした普及事業や、大学での先端研究への利活用、他都市への貸出、京都市考古資料館での展示など多様な活用が行われている。一方で、出土品はこれまで全国で約880万箱、京都市で24.8万箱以上(京都市保管数21.4万箱)が出土しているが、そのほとんどは所有者不明のものとして出土した地方公共団体で保存・管理する必要がある。このため、全国の地方公共団体において、増え続ける出土品の取扱いが文化財保護行政上の大きな課題となっている。</p>			
<p>【事業概要】 「出土品の効率的な収納・保管」、「埋蔵文化財の一層の活用」、「地域の魅力発信」を目的とした文化庁のモデル事業を、日本最多の出土品を有する本市で実施する。 本市ではこれまで、「京都府内における出土品の取扱いについて」(平成11年4月1日京都府教育委員会教育長通知)に基づき、平成12年度以前の出土品を活用度に応じたA～Dランクの4つのランクに分類し、整理してきた。今後はモデル事業を活用し、これまでの出土品整理業務に加えて、出土品の活用度に応じた効率的な保管方法の模索や、大学との連携などにより、出土品の更なる活用促進を図る。</p>			
<p>【参考(他都市の状況・事業効果など)】 本事業は、全国に先駆けた事業であり、出土品の新たな収納・活用方法の確立などの事業成果は、全国的な文化財保護行政上の課題解決に資するものである。</p>			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局、都市計画局

事務事業名	まちづくり関連情報のデジタル化推進事業		
予算額	134,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	文化芸術都市推進室 文化財保護課(222-3130) 都市企画部 都市総務課(222-3641)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>京都市では、これまでから、用途地域等の都市計画情報、景観情報、遺跡情報等、まちづくりに関連する情報を、市民や事業者が来庁することなく得ることができるよう、GISを活用した個別のWEB閲覧システムを用いて公開するなど、情報のデジタル化を図っている。</p> <p>一方、建築計画概要書や定期調査報告概要書の建物情報、土地の開発状況に関する開発登録簿や遺跡地図・発掘調査履歴といった情報については、多くの閲覧要望がある中で、利用者が来庁のうえ手続きする必要があるため、情報によっては個人情報保護の処理が必要となることから、閲覧まで長時間お待たせするなど利用者に負担が生じている状況である。</p> <p>※ GIS（地理情報システム：Geographic Information System） 位置に関する情報を持ったデータを総合的に管理・加工し、視覚的に表示する技術</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>市民や事業者が、建築計画概要書や開発登録簿、遺跡地図等といった情報を、来庁することなく得ることができるよう、GISを活用したインターネット公開サービスのさらなる充実を図るとともに、まちづくりに関連する多様な情報をオープン化することにより、市民・事業者が新たなイノベーションを創出できる環境を構築する。</p> <p>サービスの提供に当たっては、情報の種類に応じた以下のWEB閲覧システムを構築する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 建築計画概要書等WEB閲覧システム構築（都市計画局） （対象：「建築計画概要書」、「定期調査報告概要書」の建物情報） 土地建物の取引において利用される建築計画概要書等の情報については、利用者の申請に基づき閲覧に供する必要があることから、利用者登録申請機能を設けたWEB閲覧システムを構築し、運用を開始する。 2 京都府・市町村共同 統合型GISシステムの導入（文化市民局・都市計画局） （対象：「開発登録簿」、「指定道路情報」、「遺跡情報」） 市民・事業者に幅広く提供する情報については、京都府が運営している統合型GIS（府下共通のクラウドサービス）を導入し、市民・事業者により使いやすいWEB閲覧システムを構築する。 <p>【事業スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度 建築計画概要書等WEB閲覧システム及び 京都府・市町村共同 統合型GISシステムの運用開始（令和8年3月） ・令和8年度（予定）既存閲覧システムから 京都府・市町村共同 統合型GISシステムへの移行（都市計画局） 			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都コンサートホール魅力向上事業		
予算額	6,000 千円 <small>(全体事業費 169,693 千円のうち充実分)</small>	新規・充実・継続の別	充実
担当課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(222-3119)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>京都コンサートホールは、平成7年、世界文化自由都市宣言を具体的に推進していくための事業として建設された「京都が誇るクラシック音楽の殿堂」であり、京都市交響楽団の本拠地でもある。これまでに、京都市交響楽団をはじめとした国内外のオーケストラ等の公演を通じて市民の皆様に高水準の音楽を提供してきたほか、次代を担う若き芸術家の発表や、世代を超えた交流の場としての役割を果たしてきた。</p> <p>一方、開館から約30年が経過し、施設・設備の老朽化等が進んでおり、機能維持や安全性向上、長寿命化に向けた対応が求められている。大規模改修を機に、京都コンサートホールの魅力を向上し、将来にわたり京都の音楽芸術文化の価値を高め続けるため、令和6年10月に策定した京都コンサートホール魅力向上方針に基づく取組を進める。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>1 大規模改修に係る基本設計の実施</p> <p>大規模改修は、西日本最大級を誇るパイプオルガンのオーバーホールに加え、施設運営を行いながらの改修が困難な舞台設備・電気設備・機械設備の更新、特定天井の改修、エレベーターの新設、女性トイレの増設等を実施予定であり、これらに必要な基本設計を実施する。</p> <p>2 京都市交響楽団の演奏力向上による京都コンサートホールの魅力向上 (充実)</p> <p>現在、京都市交響楽団のリハーサルは主に練習場(北区出雲路立テ本町)で実施しているところ、本拠地である京都コンサートホールでのリハーサル実施を増加することで演奏力を更に高め、「世界に誇れるオーケストラ」として前進することにより、京都コンサートホールの魅力向上を図る。</p>			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局、保健福祉局

事務事業名	スマート区役所の推進に資する取組		
予 算 額	227,000 千円 (全体事業費 640,643 千円のうち充実分)	新規・充実・継続の別	充実
担 当 課	地域自治推進室(222-3048) 生活福祉部保険年金課(213-5861)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を念頭に、市民の利便性と業務効率の向上に向け、区役所業務のデジタル化を推進している。真に職員でなければできない業務に職員の力を集中する。令和7年度は、行政情報入手の利便性向上や「待たない窓口」の充実などの取組を推進する。</p>			
<p>[事業概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政情報入手の利便性向上（区ホームページの改修及びIVR（※）電話サービスの導入） ※自動音声応答と携帯電話番号宛でのメッセージ送付サービス（SMS）でのWEB情報発信の組合せ 区ホームページの整理及びスマートフォンなどアクセス方法の多様化に対応したシステム改修の実施により、WEBから必要情報がスムーズに入手できる環境を整備することで、電話や来庁といった市民の経済的・時間的負担を軽減する。 併せて、令和6年度に実証実験を行ったIVRを各区・支所代表電話及び保険年金課などに順次導入し、24時間365日、休日・夜間も行政情報が入手可能な仕組みを構築する。 ・発券機の更新による「待たない窓口」の充実 住民異動、戸籍の届出、国民健康保険の得喪などの手続において、待ち時間を御自由にお使いいただけるよう、御自身の順番が近づいたことをお持ちのスマートフォンへ知らせるサービスを各区・支所市民窓口課及び保険年金課に導入する。 ・郵送による土業者の職権請求へのキャッシュレス決済の導入 土業者が証明書を郵送で職権請求する際の手数料支払いにクレジットカード決済を導入する。併せて、窓口の混雑緩和も実現する。 ・区役所・支所行政業務LANの無線化 上京区、左京区、南区、洛西支所、伏見区、深草支所、醍醐支所において、庁舎全体の行政業務LANの無線化により、業務用パソコンを庁舎内の様々な場所で活用可能とし、組織の垣根を越えた円滑なコミュニケーションの環境を整備する。併せてペーパーレス化も推進する。 			
<p>[参 考（他都市の状況・事業効果など）]</p>			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局、教育委員会事務局

事務事業名	地域資源を活かしたつながり・支え合い創出事業		
予算額	38,400 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	地域自治推進室 区政推進担当(222-3048) 生涯学習部 学校地域協働推進担当(251-0456)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕</p> <p>ライフスタイルや価値観の多様化、単身世帯の増加などを背景として、地域住民同士が触れ合う機会の減少や地域活動への参加率の低下、地縁団体の担い手不足が引き続き大きな課題となっている。また、コロナ禍において地域活動が停滞した影響は大きく、日常的な住民同士のつながりの希薄化により、孤独・孤立化が進むことも危惧されている。</p> <p>また、学校を核とした地域コミュニティの担い手不足が深刻化する中、学校と地域のつながりによって支えられている、学校運営協議会をはじめ、体験学習や授業支援、登下校の見守り活動など地域学校協働活動（以下「協働活動」）等の取組への参画を得ることも難しくなってきた。</p> <p>一方で、地域と関わりを持ちたいが、関わり方がわからないといった企業や大学、NPOなどの声や、主体的に関われる余地のある活動には参加したいといった声もある。</p>			
<p>〔事業概要〕</p> <p>各区役所・支所が、地縁団体や企業・大学・福祉関係団体・NPOなどの多様な主体と協力し、学校や公園をはじめ地域の身近な公共空間等を活用して、地域住民の興味・関心を入り口とした、多様な人が来やすく、無理なく楽しい「場」づくりをコーディネートし、これまで地域活動に参加したいが参加できていない層や、地域の多様な主体の交ざり合いを進める。また、「場」に参加した地域住民や地域の多様な主体が、「支え手」「受け手」という関係を超えて地域の活動や新たな「場」づくりに参加・参画する循環を描けるよう、活動の魅せる化や活動間のネットワーク化を進めることで、地域の中でのつながりや支え合いから、担い手不足等の地域課題の解決や持続可能な地域コミュニティの実現を目指す。</p> <p>併せて、本市職員を対象に、多様な主体と関係を構築し、地域住民の困りごとや興味関心から、課題解決につなげていく能力を養成する研修を新たに実施するほか、地域の活動をより魅力的に発信していくことで、地域活動への参加につなげていく。</p> <p>また、本市では全ての市立学校園に学校運営協議会を設置しており、多くの学校では、保護者や地域のボランティア等が参画する企画推進委員会を設置し協働活動を推進しているが、こうした地域の特色を生かした協働活動の支援や調整の更なる充実を図る「地域学校協働活動推進員」を試行的に配置することで、区役所・支所等とも連携した地域住民の居場所と出番の創出にもつなげていく。</p> <p>＜地域学校協働活動推進員の概要＞</p> <p>原則、各区役所・支所の所管区域に、各1名を試行的に配置し、本事業及び学校運営協議会をはじめとした地域学校協働活動の企画、運営や連絡調整等に関わる業務を実施</p>			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	DV相談支援センター・みんとの体制強化		
予 算 額	8,000 千円 (全体事業費 73,430 千円のうち充実分)	新規・充実・継続の別	充実
担 当 課	共生社会推進室(222-3091)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 京都市では、平成23年から「京都市DV相談支援センター」を、令和6年7月から京都市女性のための相談支援センター「みんと」を開所し、様々な困難を抱える女性に対する相談支援業務を実施している。 DV相談件数は、全国的にも増加傾向にあり、本市DV相談支援センターにおいても、令和5年度に過去最多を更新し、6,212件の相談支援を実施した。令和6年度も12月時点で令和5年度を上回る状況となっているほか、1件当たりの相談支援内容が複雑化・長期化している。 また、「みんと」の相談支援実績も、12月末時点で累計492件となっており、今後、窓口の認知度向上に伴う相談件数の増加に対応するためには、体制の強化が必要な状況である。</p>			
<p>[事業概要] 「DV相談支援センター」と「みんと」を運営する社会福祉法人への委託料の増額により、<u>非常勤職員を常勤に変更するほか、常勤の臨床心理士を配置するなど人員体制を一体的に強化し、引き続き、相談支援ニーズに適切に対応し、一人一人に寄り添ったきめ細やかな支援を実施していく。</u></p>			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	民間団体との協働による若年被害女性等支援事業		
予算額	12,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	共生社会推進室(222-3091)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>京都市では、令和6年7月に様々な困難を抱える女性の包括的な支援を行う、京都市女性のための相談支援センター「みんと」を開所した。</p> <p>支援の中で、特に若年女性は、自らの問題を客観的に認識できていないケースや、相談先が分からない、SOSが出せない等、自ら支援につながるできないケースも多く、問題が深刻化する前の早期発見から支援につなげることの重要性を再認識するに至った。</p> <p>若年女性への積極的なアプローチや居場所の提供による支援対象者の発見、中長期的な自立支援については、行政だけでは対応が行き届きにくい場合もあり、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」においても、民間団体と対等な立場で協働し、互いの活動を補完しながら支援を行うことが求められている。これらの状況を踏まえ、当該取組促進のため、篤志者からいただいた寄付金も活用し、若年女性等を対象とした以下の事業を3年間のモデル事業として実施し、現状やニーズを調査するとともに、取組の有効性や民間団体との連携の在り方を検証し、必要な支援の磨き上げを行う。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>様々な困難を抱えた女性、特に若年女性について、問題が深刻化する前の早期発見から必要な支援につなぎ、自立して暮らすことができるよう、民間団体と連携し、①夜間の見回りによる相談支援を行うアウトリーチ支援、②一時的な居場所の提供による相談支援、③一定期間継続的な支援が必要な方への自立に向けた支援をセットで、3年間のモデル事業として実施する。</p> <p>① アウトリーチ支援 夜間に繁華街や駅前などの巡回を行い、家に帰れずにいる女性等に対する声掛けや相談支援を実施し、様々な被害の未然防止、問題が深刻化する前のアプローチを行う。</p> <p>② 居場所の提供 身体的・心理的に不安定な状態や家庭環境等により、一時的に安心・安全な居場所での支援が必要と判断した場合に、居場所を提供し、食事の提供など日常生活上の支援、不安や悩み等に対する相談支援を実施する。</p> <p>③ 自立支援 継続的な支援が必要と判断される女性については、最長1年を目途に、スタッフの見守りのある中で暮らしながら、必要な福祉サービスの利用や就労・居所の確保など、自立に向けた準備を行うステップハウス機能を有する場所を用意する。</p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都 若年被害女性等支援事業（アウトリーチ支援、自立支援、居場所の提供等） ・横浜市 若年女性支援モデル事業（アウトリーチ支援、居場所の提供、自立支援等） 			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	男女共同参画センター施設レイアウト見直し事業		
予 算 額	6,300 千円 (債務負担行為設定あり)	新規・充実・継続の別	継続
担 当 課	共生社会推進室(222-3091)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 京都市男女共同参画センターの開館から約30年が経過し、人口減少や少子高齢化、人生100年時代の到来など社会環境が大きく変化する中、多様化するニーズにも対応し、更なる男女共同参画の取組を推進するため、これからの時代を見据え、魅力あふれる施設を目指していく。 ついては、同センターの持つ優れた機能を維持しつつ、より効率的・効果的な運営を目指すとともに、令和4年度に実施したサウンディング型市場調査の結果等も踏まえ、多くの方々に施設を知ってもらい、また活用してもらうために民間事業者の様々な発想やノウハウ等を積極的に取り入れる。</p>			
<p>【事業概要】 京都市男女共同参画センターの持つ優れた機能を維持しつつ、より効率的・効果的な運営や中央青少年活動センターとの連携を更に深めるため、レイアウトの見直しを実施する。 レイアウトの見直しに係る設計費及びレイアウト変更に係る経費については、令和7年度の当初予算に加え、8年度に債務負担行為を設定している。(令和8年度 75,000千円) また、レイアウト見直し後のスペースを利用した賑わい創出に取り組む民間事業者をプロポーザル方式により公募する。</p>			
<p>【参 考 (他都市の状況・事業効果など)】</p>			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	「ワールドマスターズゲームズ2027関西」大会開催準備		
予算額	158,400 千円 (全体事業費 160,600 千円のうち充実分)	新規・充実・継続の別	充実
担当課	市民スポーツ振興室(222-3137)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>ワールドマスターズゲームズは、国際マスターズゲームズ協会が4年ごとに開催する、概ね30歳以上であれば誰もが参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会であり、関西大会では、関西各地域において全35競技59種目の実施を予定している。</p> <p>本市では、2017年4月に京都市長を会長とするワールドマスターズゲームズ京都市実行委員会を設立し、公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会や各競技団体と連携しながら、2021年(令和3年)の開催に向けて取り組んできたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2027年(令和9年)5月へ延期されることとなった。</p> <p>大会開催の約1年前となる2026年(令和8年)春から大会エントリー開始が予定されており、その前年度となる2025年度(令和7年度)においては大会認知度の向上を図るとともに、トイレのリニューアルなど、会場となる予定の西京極総合運動公園の環境向上に取り組む、ワールドマスターズゲームズ2027関西への関心を高め、「する」「みる」「支える」スポーツの振興を推進する。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>2025年度(令和7年度)は、2027年度(令和9年度)の大会開催に向けて、広報活動やイベントの実施により、更なる大会認知度の向上を図るとともに、開会式や競技運営などの計画の見直し並びに大会運営の準備に取り組む。</p> <p>また、会場となる予定の西京極総合運動公園について、園内公衆トイレの改修等に取り組むとともに、参加者等の案内のための誘導サイン整備検討を行う。</p> <p>【充実事業】</p> <p>1 <u>大会認知度の向上及び大会運営の準備</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 各種広報の充実(ホームページの更新、ポスター・チラシの作成等) 周知イベントの実施 開会式及び京都市内開催4競技(陸上、空手、バドミントン、スカッシュ)の運営計画の見直し等 <p>2 <u>西京極総合運動公園の環境向上</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 園内公衆トイレ(築30年以上)のリニューアル改修(1箇所)、更新に向けた撤去(3箇所) 誘導サインの整備検討 公園内及び公園周辺(阪急西京極駅から公園へのルートなど)における多言語対応の誘導サインの整備計画の立案 			
<p>【参 考 (他都市の状況・事業効果など)】</p>			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	球技場等運動施設整備事業(下鳥羽公園球技場改修)		
予算額	368,200 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	市民スポーツ振興室(222-3135)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 京都市では、ネーミングライツや寄付金獲得による財源確保等に努め、本市負担を抑えながらスポーツ施設の整備、改修を進めている。 本事業は、令和4年度に市民の方から頂いた寄付金を活用し、宝が池公園運動施設球技場及び下鳥羽公園球技場の改修と、宝が池公園運動施設内にスケートボードをはじめとするアーバンスポーツに対応したアーバンスポーツパークの新規整備を順次進めてきたものである。 宝が池公園運動施設は、昭和63年の京都国体開催を機に運動公園として整備された。ラグビー・サッカーなど様々な競技の大会・公式戦から身近なスポーツ活動の場として、子どもから学生・大人まで幅広い層の方々に親しまれている本市北部エリアの貴重なスポーツ拠点である。 下鳥羽公園は、昭和50年に東側に球技場、西側に公園施設を設けた近隣公園として開園した。大会・公式戦のほか、子どもから学生・大人まで幅広い層の方々が、サッカーを中心に利用されている身近な公園である。</p>			
<p>【事業概要】 <令和7年度の整備、改修内容> 【 下鳥羽公園球技場 】 ●人工芝の張替え</p> <p><これまでの改修内容> 【 宝が池公園運動施設 】 ●球技場の改修（令和5～6年度） 外壁、防水対策、観客席個席化、諸室（更衣室、トイレ等）、電光掲示板等の改修、人工芝の張替え ●アーバンスポーツパークの整備（令和6年度）</p> <p>【 下鳥羽公園球技場 】 ●照明設備のLED化（令和5年度）</p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局、建設局

事務事業名	こどもまんなか公園魅力アッププロジェクト		
予 算 額	<p style="text-align: center;">233,900 千円</p> <p style="text-align: center;">(全体事業費 1,488,000 千円の うち充実分) (うちmeetus山科-醍醐 184,319 千円含む)</p>	新規・充実・継続の別	充実
担 当 課	<p>市民スポーツ振興室(222-3135)</p> <p>みどり政策推進室(222-4114)</p>		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>令和5年11月から、人口減少対策及び“こどもまんなか社会”の実現に寄与する視点から、公園に関する様々な取組を、これまで以上に拡充して実施し、安全かつ充実した子育て環境の整備に資する公園づくりを進めていく「こどもまんなか公園魅力アッププロジェクト」の取組を進めてきた。</p> <p>安全かつ充実した子育て環境の整備をより加速化させるとともに、「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」における重点戦略「防犯環境のさらなる整備・充実」を推進するため、公園における子どもの安全対策に係る取組を強化する必要がある。</p> <p>また、地域の魅力やポテンシャルを最大限活かし、あらゆる世代がワクワクするような山科・醍醐を目指すため、新たに「meetus 山科-醍醐」の推進に取り組むとともに、引き続き洛西地域の活性化に向けた「洛西“SAIKO”プロジェクト」を推進する。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>これまでの取組に加え、<u>公園樹木の剪定による見通し確保等により、子どもが安心・安全に遊べる利用環境を整備するとともに、新たに東野公園を中心とした山科・醍醐地域の公園魅力アップに取り組む。</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公園施設の充実【建設局】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園の遊具更新 ・ その他公園施設更新・新設等 ・ 公園樹木管理の充実 ・ トイレの洋式化 2 東野公園（山科区）の環境整備【文化市民局、建設局】 大径化した樹木等の伐採・剪定、遊具更新及びインクルーシブ遊具の設置等 3 柴山西公園（山科区）のリニューアル設計(再整備)【建設局】 			
<p>[参 考（他都市の状況・事業効果など）]</p>			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」																										
予算額	202,874千円	新規・充実・継続の別	継続																								
担当課	地域自治推進室 区政推進担当(222-3048)																										
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>区民の自主的、自発的な活動を更に活性化させるため、地域課題の解決や「自分たちのまちは、自分たちでつくっていく」という地域のまちづくりを、区役所が柔軟かつスピーディにしっかりと支えていく協働の仕組みづくりとして、平成24年度に創設し、本市のあらゆる施策のベースとなる「地域力」の強化を図る取組を推進してきた。</p> <p>今後も、区基本計画に掲げるまちづくりや、すべての人に「居場所」と「出番」がある「突き抜ける世界都市 京都」の実現に向け、市民に最も身近な区役所・支所の「結節点」としての機能を強化し、地域内外の人材の交ざり合いによる多様なコミュニティの形成を支援するなど、持続可能なまちづくりを推進していく。</p>																											
<p>[事業概要]</p> <p>各区における具体的な事業については、各区の事業概要のとおり。</p> <p>○ 各区予算額 (単位：千円)</p> <table border="0"> <tr> <td>北 区</td> <td>17,938</td> <td>東山区</td> <td>21,614</td> <td>右京区</td> <td>22,216</td> </tr> <tr> <td>上京区</td> <td>14,590</td> <td>山科区</td> <td>14,641</td> <td>西京区</td> <td>18,394</td> </tr> <tr> <td>左京区</td> <td>19,627</td> <td>下京区</td> <td>11,644</td> <td>伏見区</td> <td>34,036</td> </tr> <tr> <td>中京区</td> <td>14,000</td> <td>南 区</td> <td>14,174</td> <td>合 計</td> <td>202,874</td> </tr> </table>				北 区	17,938	東山区	21,614	右京区	22,216	上京区	14,590	山科区	14,641	西京区	18,394	左京区	19,627	下京区	11,644	伏見区	34,036	中京区	14,000	南 区	14,174	合 計	202,874
北 区	17,938	東山区	21,614	右京区	22,216																						
上京区	14,590	山科区	14,641	西京区	18,394																						
左京区	19,627	下京区	11,644	伏見区	34,036																						
中京区	14,000	南 区	14,174	合 計	202,874																						
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]																											

令和7年度 京都市予算案 事業概要

北区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予算額	17,938 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	北区役所 地域力推進室(432-1197)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>北区役所では、北区の強みである「つながり」の力で進めるまちづくりをテーマとした北区基本計画を踏まえ、区民、大学、商店街、各種機関、企業等の多様な主体がお互いに顔の見える関係性を構築し、北区への愛着を醸成できるような区民参加型の事業に重点的に予算を配分する。</p> <p>令和7年は、北区が上京区から分区して70年となることから、既存事業に加えて多くの記念事業を実施し、もう一步、区民との“つながり”の力を強め、安心安全で住みよいまち北区の実現を目指す。</p>			
<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>北区制70周年記念事業（新規）</u> 「一歩ふみだそう！ “つながる” ために」をコンセプトに、区内の多様な主体のつながりを強めるため、各種の記念事業を実施する。北区の神社を会場とした「北区区民茶会」や北区の魅力を募る「北区フォトコンテスト」、北区愛を醸成するために区内の全ての小学生に北山杉製の記念品の贈呈を行うほか、西陣織の体験事業やインターバル速歩を用いた健康づくり事業など、多彩な事業を展開する。 ○ 船岡山を活かした魅力スポットの創出等その他リーディングプロジェクトの推進 船岡山及び周辺エリアの魅力を全国に向けて発信するとともに、地域経済活性化に繋げるため、北区を舞台とする短編小説を全国から募集する「京都キタ短編文学賞」や、同賞の入賞作品を収録した作品集の作成などの取組を展開する。その他、北区への愛着を醸成する地域の魅力発見事業やクイズ企画を実施する。 ○ <u>「ニコニコ北っ子」子ども向け“健康教育（性教育）” 広報媒体制作（仮称）（新規）</u> 子ども向けに人権を基盤とした包括的性教育についての啓発媒体を制作し、北区内の地域子育てステーションや子育てイベントで、子どもたちに知ってもらい、自然に意識してもらおうよう取り組む。子どもを含めた区民の健康教育の普及、安心・安全な暮らしに向け、関心を持ってもらいやすい形式の広報媒体で、早期からの包括的性教育に関する意識を定着させる。 ○ <u>「ニコニコ北っ子」つながる北っ子ひろば（仮称）（新規）</u> 乳児を育てる保護者同士が交流できる場を提供することで子育て家庭の孤立化を防ぐとともに、乳児の健全な発育・発達が促進される環境づくりを推進するため、0歳児親子の交流、講義・講話（母子保健に関する内容）、実技（発達を促す遊びや体操）を実施する。 			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

上京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予算額	14,590 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	上京区役所 地域力推進室(441-5029)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>「上京区基本計画2025 上京新時代～文化と絆で未来を創る！」に掲げる将来像の実現に向けて、以下の項目を重点方針として、各事業に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしに息づく「文化」と地域の「絆」の継承 ・幅広い世代が、つながり、交ざり合い、支え合う絆を深めるきっかけづくり ・地域愛の向上を目指し、地域の魅力を知り、触れ、体験する機会の創出 			
<p>[事業概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上京区民まちづくり活動支援事業 区基本計画の推進に向け、区民の自発的、主体的なまちづくり活動への補助を通して、地域コミュニティの活性化と区民参加によるまちづくりを進める。 ○ 上京区民ふれあい事業 上京区民ふれあいまつりや史蹟ウォーキングの開催等を通じて幅広い世代が交流できる場を創出するとともに、上京区の魅力の再発見、地域愛の向上を図る。 ○ <u>上京をMOWっとプロジェクト（新規）</u> 多くの方が区の魅力を知り、触れ、体験する機会を作るため、次の3事業を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 上京 de 婚活 「縁」や「絆」をつなぐきっかけづくりや和装文化の振興等を図る婚活事業 (2) おこしやす上京 Season3 「上京の生活に触れる」 区内の魅力ある場所を巡り、地域の魅力に触れ、体験するまち歩きツアー (3) <u>京菓子ハレモケモ。（仮称）（新規）</u> 「和菓子でつながる地域と暮らし」をテーマにした地域の魅力再発見イベント等 ○ <u>上京ふれあいネット「カミング」運営事業（充実）</u> 区の情報サイト「上京ふれあいネットカミング」をリニューアルし、区内のまちづくり活動や地域文化等の情報発信の充実に取り組む。 ○ 上京の子どもまつり 子どもたちの健全育成等を目的として、子ども同士のふれあいや地域の伝統産業・文化活動の体験、学習、遊びの場を提供する。 ○ 地域と協働して取り組む健康づくり 運動を通じて、口腔・栄養等を含めた健康づくりの意識を高めるため、関係機関や地域コミュニティと協力して健康教室などの事業を実施し、知識の普及・啓発を行う。 			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

左京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予算額	19,627 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	左京区役所 地域力推進室(702-1021)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕</p> <p>「市民生活第一」の徹底はもとより、都市の活力の創出、更なる成長に向けた取組を進めるため、区役所の「つなぐ」機能をさらに強化し、様々な主体間のつながりを促進することにより、地域課題の解決につなげる。</p> <p>「左京区基本計画（第3期）」の最終年であることを鑑み、同計画の総決算として区の豊かな「自然、文化、人」が生きる魅力あるまちづくりに取り組む。また、前年度に引き続き「誰一人取り残さない」という理念の下、「地域コミュニティの更なる向上」、「防災対策の向上」、「子どもはぐくみの取組」、「北部山間地域の活性化」を重点的に実施する。</p>			
<p>〔事業概要〕</p> <p>【地域コミュニティの更なる向上（「つなぐ」機能強化など）】</p> <p>○ <u>まちづくりネットワーク形成 in 左京（仮称）（充実）</u></p> <p>地域課題解決のため、区内で自主的に取り組まれるまちづくり活動への経費の補助を行うとともに、交流会の開催等を通じて、区民、NPO、企業、大学等のネットワーク形成を促し、担い手の裾野拡大・育成や、多主体の連携による地域活動の深化を図る。</p> <p>○ <u>左京区民ふれあい事業（充実）</u></p> <p>区民の相互交流を深めるため、各種団体等と協働で、左京区民ふれあいまつり等を実施する。実施に当たっては、学生や若者を含む様々な主体のアイデアを活かし、更なる地域交流・多世代交流の促進を図る。</p> <p>【防災対策の向上】</p> <p>○ <u>災害に強い左京区づくり事業（新規・充実）</u></p> <p>地区防災計画づくりを見据えた地域への実践的なサポートを行う。また、避難所運営マニュアルの点検・更新を目的に、学区ごとに避難所運営等に係る課題について意見交換会を開催するとともに、安心安全に避難所運営ができるよう、自主防災会への備蓄品の購入支援を行う。</p> <p>【子どもはぐくみの取組】</p> <p>○ <u>地域団体と協働した子育て家庭向け講演会（新規）</u></p> <p>18歳までの子どもや子育て家庭を取り巻く課題からテーマを設定し、講演会等を実施する。左京区の地域特性に合わせて講演内容等を企画することで、子どもや保護者が日常生活に取り入れやすい内容とする。</p> <p>【北部山間地域の活性化】</p> <p>○ <u>北部山間地域魅力創造・発信事業（充実）</u></p> <p>「左京キラリ市」等を通じて、食や自然、文化など、北部山間地域の魅力を発信し、地域のファンづくり、地域ブランド力を強化するとともに、交流人口の増加を図り、将来的な定住人口の増加につなげる。また、地域住民主体で地域の将来像を考え、持続可能な地域としていくためのまちづくり支援を行う。</p>			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

中京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予算額	14,000 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	中京区役所 地域力推進室(812-2421)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 中京区基本計画に掲げる3つの将来像「人：コミュニティの活性化と交流の促進」、 「文化：地域個性の継承と創造」、「まち：次世代につなぐくらしと環境の創出」の実現に向け、地域の団体・企業、歴史・文化の担い手、未来を担う若者など多様な主体の交ざり合い、つながりを強め、すべての人に「居場所」と「出番」があるまちづくりを推進する。</p>			
<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会ICT化促進支援事業 開かれた地域組織づくりや地域情報の発信強化に向け、回覧物の電子化など、ICTを積極的に活用した地域のモデルづくりをこれまで以上に推進し、地域活動を担う区民の負担軽減など、持続可能で活力のあるまちづくりの更なる普及を目指す。 ○ 地域のICT化担い手育成事業 地域と学生団体の交流機会の創出（地域×人財ミーティング）や、地域のICT化をサポートする担い手の育成により、地域がICTを利活用するためのサポートを進める。 ○ 地域と企業の未来をつなぐ人財育成プログラム 京都中小企業家同友会と連携し、京都の大学に通う学生が京都の企業について学ぶ企業訪問等を実施することで、将来の職業観を醸成するとともに、京都での就職を考えるきっかけを提供する。 ○ <u>子どもものづくり体験教室（新規）</u> 未来を担う子どもたちがものづくりや料理体験を通じて、働くことの大切さや地域企業を知り、ふれあい、親しむ機会を創出する。 ○ <u>中京区から世界へ羽ばたけ！未来のアスリートになろうプロジェクト（新規）</u> 次世代を担う子どもたちが、スポーツ体験を通して自分の新たな可能性を見出したり、仲間と出会うことでスポーツの魅力を知り、地域スポーツの振興にもつなげる。 ○ <u>茶道を通じた文化普及啓発事業（新規）</u> 二条城で開催される市民大茶会に合わせてお茶・茶道具を通じて「おもてなしの心」を学ぶ文化財啓発事業を開催し、京都ゆかりの伝統文化について学ぶ。 ○ <u>中京区魅力発信アニメーションを活用した移住PR（新規）</u> 令和6年度に作成した中京区魅力発信アニメーションを首都圏や近畿圏で発信し、中京区に興味を持ってもらうとともに、将来的な中京区への移住につなげる。 			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

東山区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予算額	21,614 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	東山区役所 地域力推進室(561-9114)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 東山区基本計画で掲げる地域コミュニティの持続化のため、地域のコミュニティハブをつくり、区民・事業者・大学等がつながり、支え合うことで、すべての人に「居場所」と「出番」を創出するほか、人口減少対策、子育て環境充実、防災機能強化等の重要課題を公民連携で取り組み、「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりを進める。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>○<u>地域コミュニティハブにおけるマッチング事業（新規）</u> 区内で地域課題の解決に取り組む地域団体や大学、事業者等との連携や支援のため、相互に交流できる場を創出する。 また、既存事業を核として、地域の課題・社会資源を幅広く捉え、新たな居場所の整備、活性化を目指して「人」や「居場所」などを繋ぎ合わせる。</p> <p>○<u>住んでこそ！東山プロジェクト（充実）</u> 人口流出を抑制し、流入人口を増加させるため、区民・事業者・行政が連携し、定住・移住への意欲を喚起する方策を進めるとともに、新たな住環境や活力の創出を図ることにより、持続可能な定住促進の取組へと繋げていく。 具体的には、東山の魅力を発信するSNSやホームページ等の情報充実を図り、宿泊施設等と連携したお試し居住等それぞれの事業の継続性を高める取組を行う。 また、<u>空き住戸の活用に向けた取組等を行い、移住希望者や関係人口候補者への検討段階に応じたサービスを提供する。</u></p> <p>○<u>つながる防災コミュニティの実現（充実）</u> 災害時における避難行動や避難所運営に関する訓練等を通して、地域・世代が繋がる防災・減災のコミュニティづくりを推進する。<u>特に、備蓄の強化や実際の避難所運営を行った方の体験を聞く機会を通して、より実践的な地震に備えた災害に強いまちづくりに繋げる。</u></p>			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

山科区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予算額	14,641 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	山科区役所 地域力推進室(592-3066)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>福祉、教育、子育て、包摂性の高いまちづくりや安心安全な市民生活を第一としつつ、「meetus 山科-醍醐」プロジェクトと緊密に連携しながら、人口減少対策、地域とのつながりづくり、空き家の解消、子育て環境の更なる充実等を推進していく。すべての人に「居場所」と「出番」があるまちづくりや次代の山科の魅力の創出に向け、関係団体や民間事業者等との協働のもと、「子どもの居場所づくり支援事業」等を積極的に展開する。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>○子どもの居場所づくり支援事業（充実）</p> <p>柳辻駅周辺を中心とした山科区南部エリアにおける青少年の福祉の増進、健全な育成及び自主的な活動の促進、学習支援を目的に、区役所の空きスペースを活用し、中高生年代を対象とした居場所（ゆうすぺーすやましな）を提供する事業を行う。</p> <p>その中で、<u>実際の運営や利用者の状況に応じ、専門家等を招いたラウンドテーブルを開催。山科区の実態に応じた社会課題の解決を、多様な主体による対話の中で模索していく。</u></p> <p>○やましな子育て支援事業（充実）</p> <p>区内の子育て支援事業の情報等をまとめた「やましなっこおめでとうガイド」を赤ちゃんが誕生した全ての家庭に引き続き配布するほか、民生児童委員等が山科区で出生した赤ちゃんの家庭を訪問し、育児相談等を行う「お誕生おめでとう事業」を展開する。</p> <p>その他、<u>特定妊婦等に対して粉ミルク等を贈呈することで家庭訪問・面談を実施するきっかけをつくり、母子の孤立を防ぐ。</u></p> <p>○やましな健康フェスタ（新規）</p> <p>区民が広く健康寿命についての理解を深め、自身や家族等の健康づくりに取り組む機会となることを目的に、区役所と連携協定を結んでいる洛和会音羽病院など福祉・医療関係団体等と協働し、健康に関する普及啓発を行う。</p> <p>○山科まちづくりチャレンジ応援事業</p> <p>老若男女を問わず山科に関わる一人一人の誰もが、いきいきと地域活動を担えるまちを目指し、山科区で新しくまちづくり活動の第一歩目にチャレンジする方を引き続き応援する（活動費、活動場所、相談窓口など）。</p> <p>令和7年度は、これまでの相談状況を踏まえ、まちづくりアドバイザーによる相談体制を充実させる。</p>			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

下京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予算額	11,644 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	下京区役所 地域力推進室(371-7164)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>令和7年12月に終期を迎える第3期下京区基本計画を着実に推進し、「住んでよし、働いてよし、訪れてよし、学んでよし」を目指したまちづくりを引き続き進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 安心安全や健康長寿、子育てなど地域における共助の力の維持・向上 2 多様な方々が出会い「つながる」機会の充実による協働のまちづくりの推進 3 地域の魅力発信や子育て支援情報の充実による定住・移住促進 			
<p>[事業概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 下京区まちづくりサポート事業「SHIMOGYO+GOOD」 「良いことがたくさん京都・下京区」を目指し、区基本計画の6つの重点戦略を推進する区民・事業者等の自主的なまちづくり活動を、経費補助により支援する。 ○ 交流促進・まちづくりアイデア創出プロジェクト 「SHIMOGYO+GOOD」採択団体やまちづくり活動を行う学生、事業者、地域団体等、多様な方々の「つながり」を促進する交流会を拡充して実施するほか、若い世代のまちづくり活動への伴走支援を行う。 ○ <u>暮らしまち下京・魅力発信プロジェクト(仮称)(新規)</u> 区独自ウェブサイト「下京地域情報サイト」及び「下京子育て応援情報」の機能を統合し、定住移住促進・関係人口創出に資するコンテンツを含めたウェブサイトを新たに開設する。地域ならではの情報や子育て支援情報等を発信することで、「暮らしまち」としての下京区の魅力を発信する。 ○ 下京みらい数珠つなぎプロジェクト 下京区全体で子どもの健全育成を見通した包括的な支援体制を構築し、子どもの生きる力をはぐくみ、子どもたちの成長をより豊かなものにするとともに、地域共生社会を実現することを目的として事業展開を図る。新たに、妊娠期からの子育て支援の一環として、赤ちゃん人形を使用した育児体験により、安心して出産、育児に向けた準備ができるよう支援する「赤ちゃん人形貸出事業」を実施する。 ○ <u>世界一安心安全・おもてなしのまち京都 下京区推進事業(新規)</u> 近年、外国籍の市民が増加していることを受け、外国籍の方が日本で生活する際にトラブルになりやすい生活マナー等の啓発チラシ(英語、中国語、韓国語)を作成し、地域にお住まいの方々が国籍を問わず、安心して生活できる環境整備を図る。 			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

南区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予算額	14,174 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	南区役所 地域力推進室(681-3417)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 南区制70周年の節目を迎える令和7年度は、南区基本計画に掲げる区の未来像の実現に向け、記念事業を契機に人と人がつながり、南区ならではの“みなみ力（地域力）”を高めるとともに、以下の視点について重点的に取り組み、持続可能なまちづくりを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次代を担う子育て世代の防災意識の向上や地域の安心・安全を確保する取組支援など地域防災力の強化 ○ 安心して子育てができる環境づくりの推進 ○ 地域ぐるみでの健康づくりの機運を高め、区民自らが健康づくりに取り組む機会の創出 			
<p>〔事業概要〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>地域防災力強化 小学校と連携した防災啓発事業（新規）※南区制70周年記念事業</u> 小学生とその保護者が防災について一緒に考える機会の創出を通じて、若い世代の防災意識の向上を図る。 ○ <u>地域ぐるみでの子育て支援の推進</u> 大型商業施設や子育て支援ルーム「すくすくみなみ」等を拠点とした親子同士の交流促進・相談の場づくりを行う。防災や乳幼児の事故防止に係る啓発など、子どものいのちを守るための取組を充実する。 ○ <u>子育て環境の充実（新規）※南区制70周年記念事業</u> 安心して子育てができる環境づくりのため、「気軽に行けて、親子でほっと安心できる場所」として、乳幼児とその保護者が一緒に遊んだり、他の親子やスタッフと交流できる施設である南区子育て支援ルーム「すくすくみなみ」の設備充実等を図る。 ○ <u>健康長寿推進事業</u> 子育て中の母親や若い世代に向けて、乳がん検診や食育セミナー等を掲載したリーフレット「ままけん」の配布や児童館等での健康講話の実施により、「かんたん・手軽」に取り組める健康づくりを重点的に普及啓発する。南区健康づくりサポーターをはじめとした健康寿命の延伸を推進するグループに向け、地域とのコーディネートを支援し、地域の主体的な健康づくり事業を側面から促進する。 ○ <u>あつまれ！みんなのカフェ（充実）</u> 南区のまちに関心のある人々が、集い、語り合い、つながることができる場を創出し、参加者同士が交流することで自主的なまちづくり活動の活性化を目指す。 ○ <u>南区制70周年記念事業（新規）</u> 南区制70周年を区民の皆様とともに祝い、これからの南区のまちづくりに向けて、“みなみ力（地域力）”を更に高め、「持続可能なまちづくり」を進めていくことを目的に記念事業を実施する。 			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

右京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予算額	22,216 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	右京区役所 地域力推進室(354-6466)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>区役所が、地域団体やまちづくり活動団体、企業・大学・医療機関等の右京ファンクラブ会員、大学生等が出会い、つながり、交ざり合う「結節点」となり、右京区が持つ文化・自然・産業などの潜在的な力を高め、すべての人に「居場所」と「出番」を創出できるよう取組を進めていく。</p> <p>特に「右京の魅力発信事業」、「右京子どもの未来応援事業」、「みんなでつくる右京の推進」の3点について、より力を入れて取り組む。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>○右京の魅力発信事業 右京に住む人、働く人、大学生などに「区民ライター」として、右京の魅力を SNS など で発信してもらう。これまで築いてきた地元企業・商店、まちづくり団体、大学との関係 を活かし、「人と人とのつながり」をキーワードにした右京独自のコンテンツを展開する ことで、右京に住んで良かった、これからも住み続けたいと多くの人の共感と呼び、定住・ 移住に繋げるため、情報発信に取り組む。</p> <p>○右京子どもの未来応援事業 赤ちゃん訪問や乳幼児健診等の機会を活用し、子育て支援団体の情報に触れやすくする ことや、地域での子育て支援や見守りの中心となる右京子どもはぐくみサポーターとの交 流の機会を増やしていく。また、地域に根差した子育て情報の発信等により地域全体で子 どもを育むまちづくりを目指す。</p> <p>○「みんなでつくる右京」の推進（充実） 右京区基本計画の下で進めてきた事業を発展させ、まちづくり活動団体と地域団体が交 流する場を設ける。そして、団体の個々の活動の担い手や内容の充実につなげ、双方の団 体の活力向上を目指す。また、右京区を愛する人によるまちづくり応援団体「右京ファン クラブ」の運営を進めていく。更に、右京区のまちづくりを応援するポータルサイト「右 京ファンクラブねっと」を、右京での生活や活動に役立て、右京を愛する人同士の交流が 深まるようリニューアルする。</p>			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

西京区役所、洛西支所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予算額	18,394千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	西京区役所 地域力推進室(381-7158) 洛西支所 地域力推進室(332-9185)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>西京区のチャレンジとして、地域特性に応じ、区役所・支所が「結節点」となって、すべての人に「居場所」と「出番」を創出するとともに、地域活動における「つなぐ・むすぶ・交ざり合う」の具現化を目指す。</p> <p>これに当たり、令和8年度に迎える区制50周年・洛西NTまちびらき50周年を契機として、洛西“SAIKO”プロジェクトの推進も含め、外部機関等とも連携し、都市としての西京区の更なるブランディングを図ることで、交流人口、定住・移住人口の増に繋げ、「選ばれるまち—西京区」の実現を目指す。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p><西京区役所></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>西京区のブランド構築・プロモーション事業（新規）</u> 西京区が持つ潜在的なポテンシャルを発掘し、それらの魅力を令和8年度に迎える西京区制50周年を契機とし、鉄道事業者や不動産事業者、金融機関、観光協会等と連携のう え、様々な広報媒体を通じて区内はもとより区外へ広く発信することで、「選ばれるまち—西京区」の実現を目指すとともに、定住・移住を促進する。 ○ <u>「POP UP! 西京」推進事業（新規）</u> 西京区役所新庁舎の区民交流ロビーを活用し、区社協をはじめ、福祉事業者・関係者等とのつながりや地域内外の人材の交ざり合いを促進し、多様なコミュニティを形成するため、カフェ・マルシェ事業を本格実施する。 ○ <u>「“ええとこ”・魅力・情報発信」カフェ・店舗の創出・連携事業（新規）</u> 西京区（本所管内）のカフェや喫茶店等の店舗に、まちづくり活動に係る情報や西京区の魅力の発信拠点になってもらうとともに、店舗や周辺エリアの魅力を効果的に発信することで、西京区の新たな魅力の創造につなげる。 <p><洛西支所></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>洛西“SAIKO”サポーターズプロジェクト（新規）</u> 地域に住む人々や働く人々、民間企業等がそれぞれの強みを発揮できる分野で主役となり、定住・移住の促進、子育てしやすい環境の整備、生活利便性の向上を共に目指すことができるよう、洛西“SAIKO”サポーター等と「みんなで楽しみ、支え合い、育てるまち」をテーマに地域の絆を深め、まちづくりの輪を広げる洛西らしい盆踊りなどを創り上げる。 ○ <u>住んで子育て！Welcome洛西プロジェクト</u> 赤ちゃん訪問事業において、大原野野菜の商品券や新生児の母親がリフレッシュして元気をチャージできる参加・交流型プログラムなど、地域資源を活用した「洛・楽子育て応援メニュー」をプレゼントすることにより、子育て環境バツグンの洛西地域で、子どもの成長と子育てを全力応援し、子育て世帯の満足度の向上や定住・移住促進を図る。 ○ <u>京都西山はいいぞ！魅力発信プロジェクト</u> 地域資源である小畑川中央公園の水辺の舞台における吹奏楽祭や近隣自治体と連携したフォトコンテストの開催など京都西山の魅力発信と地域振興策を展開することで、交流人口の拡大を目指すとともに、賑わいの創出、地域住民の郷土愛の醸成を図る。また、大原野「地域ブランド」戦略期間終了後の展開として、なんやかんや「大原野」推進協議会が実施するつなぐ・つながる「大原野」づくりプロジェクト（仮称）を支援する。 			

令和7年度 京都市予算案 事業概要

伏見区役所、深草支所、醍醐支所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予算額	34,036 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	伏見区役所 地域力推進室(611-1295) 深草支所 地域力推進室(642-3125) 醍醐支所 地域力推進室(571-6105)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕</p> <p>伏見区役所では、誰もが安心安全を実感でき、住み続けたい、子育てしたい、働きたいと思える地域力・福祉力に満ちた持続可能な伏見のまちづくりを推進している。</p>			
<p>〔事業概要〕</p> <p>誰もが安心安全を実感でき、住み続けたい、子育てしたい、働きたいと思える地域力・福祉力に満ちた持続可能な伏見のまちづくりを推進する。</p> <p>とりわけ、誰もが幸せや生きがいを感じられるよう、すべての人に「居場所」と「出番」のある、学び、つながることのできるまちを目指し、以下の取組を新たに進める。</p>			
<p>○ <u>ふしみらい共創プロジェクト（新規）</u> <u>伏見区役所</u></p> <p>多様な主体がつどい、つながり、交じり合う機会を多層的に創出するため、これまでの施策を再構築し、地域の自主的な活動を一層促進するための取組を新たに進めていく。 (大学との連携による地域課題解決事業、協働による地域づくりの推進、新しい伏見をかもすMIRAIチャレンジなど)</p>			
<p>○ <u>地域をむすぶ・つなぐハブ形成プログラム（新規）</u> <u>深草支所</u></p> <p>地域の様々な主体が参加・交流できるハブを形成し、団体やコミュニティの枠を超えた活動の連携を促進するとともに、それらの活動をサポートすることで、多様な主体のつながりの力によるまちづくりを図る。 (学生と地域との連携プラットフォーム形成事業、地域のまちづくりサポート事業など)</p>			
<p>○ <u>みんなで創るワクワクだいがプロジェクト [meetus 山科-醍醐関連事業]</u> (新規) <u>醍醐支所</u></p> <p>人口減少が顕著な醍醐のまちの今後に向けて、多様な人々とのつどいや交ざり合いの場を創出し、まちづくりについて議論するとともに、地域の魅力を再発見・発信する取組を実施する。併せて、地域の「絆」で子育て家庭を支える環境づくりを推進し、若者・子育て層の定住・移住につなげる。 (住むまち・醍醐の魅力再発見事業、特色ある学習・体験プログラム創出事業、醍醐で子育てオープンデイ (仮称) など)</p>			